

2022年度 つむぎ ふじみ野ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

	質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
体制設備・環境について	Q2 入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するにあたり安全な環境であるか。	4.5	支援の前後それぞれに清掃する時間を設けることと、整理整頓を常に心がけております。これからも引き続き環境整備に努めてまいります。
	Q3 職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	3.1	お子さまの様子を鑑みて、今後とも適切な職員配置を行ってまいります。また、職員研修を充実させ、より専門性の高い支援ができるよう努めてまいります。
	Q4 業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	3.9	休憩時間に各自の事務仕事を進めることはある現状ではあります。業務分担をしていくことや各自がタスク管理等を行っていくことで、スタッフ全員が休憩をとれるよう努めてまいります。
	Q5 ルーム内の環境や支援員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		短時間でもよいのでスタッフがほしい、専門職が増えると良い等、ご意見を頂いております。適切な人員配置を今後も検討していきます。
業務改善について	Q6 業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	3.6	つむぎスタッフ間での情報共有だけではなく、併設の保育園スタッフとの情報共有も今後強化してまいります。
	Q7 保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.1	毎回貴重なご意見を頂戴しております。頂いたご意見は全スタッフで共有し改善点についても全スタッフで話し合い改善に向かえるよう努めてまいります。
	Q8 この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	4.4	カフェスペースに掲示のほか、ホームページで公開しております。
	Q9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4.1	行政の監査を受けた際はその評価結果を業務改善につなげております。現在は外部評価は実施しておらず、内部監査での指摘は是正計画を立て改善に努めております。
	Q10 職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	3.9	法人では、子育てスキル講座をはじめ様々な研修機会が用意されており、スタッフはできる限り参加しております。今後は自ルームでの勉強会を行う機会を設けていけるよう検討しております。
	Q11 業務改善について、ご意見をお聞かせください。		業務量が多いという意見を頂いております。ルーム内での業務を皆で分担していくことや、業務内容の確認や事務処理を行う時間の確保を行うと共に、それぞれの進行状況を把握しサポートしていける仕組み作りをしていきます。
適切な支援の提供について	Q12 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.9	共通のアセスメントツールを使用し、記入者以外のスタッフが見ても分かりやすいツールになっています。今後もツールの内容が適切か等は再度確認していきたいと思っております。
	Q13 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	3.9	アセスメント後、策定会議を行った上で個別支援計画を作成しています。今後もお子さまの様子を日々確認しながら指導に努めてまいります。
	Q14 グループ活動や個別支援のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	3.9	6ヶ月ごとに支援目標を立てておりますが、お子さまの成長の具合に合わせて柔軟に変更したり、成長をとらえやすくするため、さらに短期間でのスモールステップの目標設定も加えるなど努めてまいります。
	Q15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.1	室内、園庭、散歩、調理、植物の世話など様々なプログラムを取り入れることや、併設の園児と関わること等、様々な人との関わりの中で本物の体験をより多くできるように組み立てております。
	Q16 プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.0	支援前に必ずプログラム内容について打ち合わせするとともに、お子さまの様子によって臨機応変に対応できるよう、スタッフ間で役割分担や支援目標について確認しています。
	Q17 支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.0	毎日、スタッフ間で支援の振り返りを行い、一人一人の小さな成長にも気付けるよう共有しております。また、関わり方や支援の仕方についても共通の対応ができるよう話しています。
	Q18 日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	3.9	支援内容や保護者様とお話した内容は正しく記録し、その後の支援へとつなげていけるよう今後も努めてまいります。
	Q19 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていくか。	4.4	6か月に一度定期的にモニタリングを行い、適用期間内に次期の個別支援計画を提示できるよう今後も努めてまいります。
	Q20 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	3.9	児童発達支援ガイドラインに従い、活動を複数組み合わせる支援を行うよう今後も努めてまいります。
	Q21 適切な支援の提供について、ご意見をお聞かせください。		
保護者との関係機関について	Q22 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3.9	支援の振り返りの時間に保護者様と状況や課題を共有するよう努めております。また、相談支援加算の制度利用についても積極的に提案してまいります。
	Q23 所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に努めているか。	3.9	保護者様へ関係機関連携加算の制度を説明し、了承を得て園訪問に向っております。園での様子やつむぎでの様子を共有することや支援についてアドバイスを行うこともあります。今後も連携を広げていけるよう努めてまいります。
	Q24 児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に努めているか。	3.9	個別に他事業所と連絡をとることや、訪問に向うことで連携をはかっております。今後もさらに情報共有できるように努めてまいります。
	Q25 児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.9	相談支援事業所とも連携し、就学後に利用される事業所へ情報の提供をできるように努めております。セルフプランの方についても状況に応じて利用先の事業所と連携してまいります。

保護者と関係機関について	Q26	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.3	地域の児童発達支援センターや児童発達支援事業所と連携し、必要に応じて情報共有をしております。
	Q27	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	2.9	会議の周知があった際は積極的に参加するよう努めております。
	Q28	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	4.5	保育園併設という環境を生かし、子ども同士お互いに成長しあう機会を今後もより一層提供できるよう努めてまいります。
	Q29	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	3.8	子育て支援センターと連携し、地域のお子さまや保護者様が気軽に参加できるように行事を企画したいと検討しております。
	Q30	保護者の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	4.0	現在は毎回の振り返りの際に、お子さまとの関わり方の助言や、所属園やご家庭でできる支援を提案する等おこなっております。今後も保護者様と関わりながら、保護者支援の向上に努めてまいります。
	Q31	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		他事業所との連携を増やしたり、保護者支援を行えるスタッフを増やしていけるとよい等ご意見を頂いております。担当児童の関係機関との連携や保護者様との連携をそれぞれのスタッフが行っていただけるようサポート体制を整えていきます。
保護者やお子さまへの対応などについて	Q32	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.1	安心してご利用頂けるよう、契約時には分かりやすく説明するよう心がけております。利用開始後でも、ご不明な事があればいつでもお訊ね下さればご説明させていただきます。
	Q33	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.3	通常は振り返りの時間や、お子様の支援時間で保護者様が待機されている時間でご相談にも応じておりますが、まとまった時間でのご相談を希望される場合、「相談支援加算」という制度を利用し、30分程度の面談をおこなっております。
	Q34	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	4.0	つむぎカフェや待機スペースを利用して頂き保護者様同士が気軽に話せる環境作りをしております。また、OB保護者様を招待しての懇談会を開催いたしました。今後も企画検討してまいります。
	Q35	子どもや保護者からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.1	告知に関しては主に配布文書で、また活動報告に関しては今年度よりつむぎのブログを開始しております。ぜひご覧下さい。また告知に関してご不明な点があればいつでもお気軽にお声がけください。
	Q36	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、子どもや保護者に対して情報を発信できているか。	4.1	今後も日々の対応を振り返りながら、誰にでも伝わりやすい意思疎通ができるよう努めてまいります。
	Q37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例:分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	4.1	パソコンは各個人のログインIDとパスワードがあり、他者が開くことのできない仕様になっております。また個人記録ファイルは鍵付きの書庫で厳重に保管しております。今後も徹底していきます。
	Q38	個人情報の取扱に十分注意しているか。	4.4	毎日朝礼と夕礼で情報共有を行っております。休み明けのスタッフにも情報共有が徹底されるよう、業務日報への記載もしっかりと行い、確認を努めてまいります。
	Q39	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.1	新しいスタッフも把握しやすいよう、該当する事項が起こる前や、起こった際には必ず内容の確認を行っております。今後定期的に読み合わせを行い、更に把握し対応できるよう努めてまいります。
	Q40	保護者や子どもへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		保護者の方へのご希望や支援内容のすり合わせ等、伝え方が難しいと感じることがあるという意見を頂いております。ルーム内勉強会を行うことや、先輩スタッフの対応の仕方を見聞きできる機会を設けてまいります。
	非常時の対応について	Q41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	4.0
Q42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.1	月一回、保育園と合同で、様々な状況を想定しての訓練を行っております。
Q43		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	4.3	今後県主催の虐待防止研修に参加していき、スタッフ間で意識を高めてまいります。
Q44		ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.3	毎日終礼時にヒヤリハットの有無を共有し、危険な場面の想定や事故に繋がらないよう対策の検討に努めてまいります。事例集としては事故防止委員会で作成頂いたものより話し合いを行っております。
Q45		非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		
満足度について	Q46	子どもはつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.1	つむぎに通うことを楽しみにしているとお声を多数頂戴しております。子どもの気持ちを真ん中に置き、そこから成長していくことができるような支援となるよう、スタッフ一同今後も努めてまいります。
	Q47	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することがあるか。	4.1	成長した様子や小さな変化を全スタッフで共有する時間を今後も作っていき、皆が実感し今後の支援に生かしていけるよう努めてまいります。
	Q48	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		